

令和3年度（2021年度）第1回病院・薬局関東地区調整機構委員会（総会）議事録（案）

日時：令和3年（2021年）4月13日（火）14:00～17:00

場所：Zoom会議

出席者：関東甲信越1都9県薬剤師会および病院薬剤師会委員、日本保険薬局協会委員、日本チェーンドラッグストア協会委員、日本病院薬剤師会、東京都薬剤師会、薬学教育協議会、関東地区調整機構、24大学委員

総会開催にあたり、三原潔副委員長より出席人数の確認が行われ、委員51名のうち出席47名、委任状提出3名および欠席1名であり、総会開催の規定を満たしていることが確認された。

冒頭に吉山友二委員長より、本総会をZoom開催する趣旨の説明が行われた。

1. 報告事項

（1）薬学教育協議会報告

本間浩代表理事より、2020年12月24日（木）に開催された第41回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会の議事録の重要事項として、①各地区支部長からコロナ禍における実務実習に関して、実習内容、問題点および工夫したことの情報共有を行ったこと、②文部科学省神山氏より令和2年度実務実習中間報告書が報告されコロナ禍における実務実習の実態が明らかになったこと、③薬学実務実習に関する連絡会議は令和3年3月で実施期間が終了する予定だが2年間延長になったこと、④薬学教育者ワークショップ実施委員会がコロナ禍でのワークショップ開催について感染対策やオンラインでの実施方法に関するマニュアルを整備したこと、⑤認定実務実習指導薬剤師養成講習会の開催許可と指導薬剤師の認定業務について、薬剤師研修センターから協議会へ移管する議論を始めたこと、⑥令和4年度実務実習実施日程が承認されたことが報告された（資料1-1-1）。

（2）令和2年度（2020年度）第III期以降の実務実習実施状況

吉山友二委員長より、大学小委員会が取りまとめた2020年度第III期以降の実務実習実施状況を中央調整機構委員会へ示したこと（資料1-2①）、さらに実務実習向上委員会が取りまとめた実務実習の良い事例2件が報告された（資料1-2②）。

（3）小委員会報告

1）大学小委員会報告

中村智徳委員長より、議決権を行使できる大学小委員会委員の立会のもと、次期関東地区調整機構委員長の候補者選出を行ったこと、さらに次期副委員長および常置委員会委員長等についても候補者選出を行ったことが報告された。

また新型コロナワクチンの実習生への優先接種については、2021年2月16日に厚生労働省から発出された「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き」に、「医学部生等の医療機関において実習を行う者については、実習の内容により、新型コロナウイルス感染症患者に頻繁に接する場合には、実習先となる医療機関の判断により対象とすることができる。」の文言があり、これに関して2021年2月26日に文部科学省より、「ワクチン接種はコロナ関連業務に特化した実習に限られるといった意図ではなく、あくまで実習を行う医療機関において、疑い患者を含む新型コロナウイルス感染症患者に頻

繁に接する機会があるかどうかを判断して頂くことを意図していること、実習先となる医療機関において、実際に実習学生に対しワクチンを接種するという判断がなされた場合、各大学等と医療機関等で密に連携頂きたい」との通知の発出があったことが報告された。

これらの通知を受けて各地区の薬剤師会で実習生へのワクチン接種の対応が検討されているが、多くの施設でまだ接種されていないこと、今後は調整機構においても各機関と連携をとり情報発信に努めていきたいとの説明が行われた（資料 1-3-1）。

2) 病院小委員会報告

渡邊真知子委員長より、特に報告すべき事項がないことが報告された（資料なし）。

3) 薬局小委員会報告

久保田充明委員長より、特に報告すべき事項がないことが報告された（資料なし）。

4) 指導薬剤師養成小委員会報告

小佐野博史委員長より、2021年3月8日に開催された指導薬剤師養成小委員会の議事録が報告された（資料 1-3-4）。認定実務実習指導薬剤師養成 WS は緊急性の高い参加者を対象に2月27日と28日に実施したこと、令和3年度の認定実務実習指導薬剤師養成 WS は11P（関東地区調整機構主催 4P、地区主催 7P）を予定していること、座学講習会は認定実務実習指導薬剤師養成 WS 実施に伴う人数が参加できる規模で関東地区調整機構が実施するとの説明が行われた。また大学小委員会委員には、大学が責任をもって施設概要を担保している病院の指導薬剤師については、病院薬剤師会へ再度確認し、緊急性が高く不足がある場合に申込を行って頂きたいこと、実務系新人あるいは指導薬剤師と連携を取ることが必要な教員がいる場合に参加者として推薦して頂きたいとの説明が行われた。

5) 実務実習向上委員会

吉山友二委員長より、実務実習向上委員会の委員長が林宏行委員より岸川幸生委員へ交代したこと、引き続き良い事例の収集を行っているとの説明が行われた。

(4) その他

総会参加者からの質問は特になかった。

2. 協議事項

(1) 令和2年度（2020年度）第2回病院・薬局実務実習関東地区調整機構総会議事録（案）

吉山友二委員長より、令和2年度（2020年度）第2回病院・薬局実務実習関東地区調整機構総会議事録（案）が示された（資料 2-1）。本議事録（案）は委員より承認された。

(2) 令和2年度（2020年度）事業報告（案）

吉山友二委員長より、令和2年度（2020年度）事業報告（案）が示された（資料 2-2）。関東地区の実習状況と今後の方針、総会・委員会の開催状況、実務実習施設の割り振り調整作業、実務実習の円滑な実施に向けた事業等（トラブル、データベース、ふるさと等）、認定実務実習指導薬剤師の養成・認定実務実習指導薬剤師の資質向上、改訂モデル・コアカリキュラムへの対応について説明が行われた。本事業報

告（案）は委員より承認された。

（3）令和2年度（2020年度）決算報告（案）

山田純一運営委員より、関東地区調整機構令和2年度決算報告（案）が示され（資料2-3）、最終的に本決算報告（案）は委員により承認された。

（4）委員長・副委員長などの選出

1）関東地区調整機構委員長の選出

三原潔副委員長より、先ほど大学小委員会を開催し、自薦を優先して立候補のあった中村智徳大学小委員会委員長（慶應義塾大学）を次期関東地区調整機構委員長の候補者へ選出したことが提案された。本提案は総会により承認された。

2）関東地区調整機構副委員長の指名（新委員長）

中村智徳新委員長より、三原潔副委員長（武蔵野大学）が留任・指名された。

3）常置委員会委員長、副委員長の報告

①大学小委員会

中村智徳新委員長より、大学小委員会委員長は嶋田修治委員（東京理科大学）、副委員長は大嶋繁委員（城西大学）が選出されたことが報告された。

②病院小委員会

渡邊真知子委員長より、病院小委員会委員長は渡邊徹委員（神奈川県病院薬剤師会）、副委員長は渡邊真知子委員（東京都病院薬剤師会）が選出されたことが報告された。

③薬局小委員会

久保田充明委員長より、薬局小委員会委員長は久保田充明委員（神奈川県薬剤師会）、副委員長は田中友和委員（栃木県薬剤師会）が選出されたことが報告された。

4）特別委員会委員の報告及び委員長、副委員長の選出

①指導薬剤師養成小委員会委員長、副委員長の選出

小佐野博史委員長より、指導薬剤師養成小委員会委員長は小佐野博史委員（帝京大学）、副委員長は日高慎二委員（日本大学）が選出されたことが報告された。

②実務実習向上委員会委員長、副委員長の選出

岸川幸生委員（日本大学）より、実務実習向上委員会委員長に選出されたことが報告された。副委員長は後ほど選出することが報告された（後に向後麻里委員が選出されたと報告）。また渡邊真知子病院小委員会委員長より、村上賢志委員（栃木県病院薬剤師会）、小川淳司委員（群馬県病院薬剤師会）および眞壁秀樹委員（埼玉県病院薬剤師会）が選出されたことが報告された。さらに久保田充明薬局小委員会委員長より、杉山宏之委員（千葉県薬剤師会）および原正朝委員（日本保険薬局協会）が選出されたことが報告された。

5）委員長指名の運営委員の承認

①薬局関係（東京都病院薬剤師会）

中村智徳新委員長より、山田純一委員が指名され、本総会により承認された。

②病院関係（日本病院薬剤師会）

中村智徳新委員長より、和泉啓司郎委員が指名され、本総会により承認された。

（5）令和2年度監査報告

監事の永田泰造運営委員より、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの会計および業務の監査を行った結果、会計帳簿記載金額と証拠書類が一致し、収支状況を正しく示し不正行為がないこと、さらに事業報告書等の確認したところ、適正に業務が遂行されていることを認めたことが報告された（資料2-5）。

（6）その他

廣原正宣委員（昭和薬科大学）より、現在、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止措置が出ているが、2022年度の実習割り振りのスケジュールの変更予定の有無について質問があった。これに対して中村智徳新委員長より、スケジュール変更は無いとの回答があった。また、割り振り後に施設変更等が発生した場合、調整機構事務局から特に薬局への情報提供の方法について、見直しを行って頂きたいとの要望があった。これに対して中村智徳新委員長より、情報提供の方法は基本的に今まで通りにしたいが、素早い対応ができない場合もあるので、ご理解頂きたい旨の回答があった。

鈴木嘉治委員（茨城県病院薬剤師会）より、認定実務実習指導薬剤師養成WSへ参加する際の参加者の健康調査の具体的な方法およびワクチン接種の要否について質問があった。これに対して小佐野博史委員長より、健康調査の具体的方法が回答された。またワクチン接種は過去2回のWS開催については求めていなかったが、今後は感染状況に応じて検討したいとの回答があった。

文部科学省の追川ケイ子（高等教育局医学教育課）氏より、ワクチン接種の件については日本薬剤師会からの要望を踏まえて、厚生労働省と調整しているところであるとの回答があった。

最後に中村智徳新委員長より、就任にあたって、大学・薬局・病院間の「三薬連携」の強化を推し進めたいとの挨拶が行われた。

（文責 嶋田 修治）